

指導と評価の年間計画(美術 II)

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科 目	芸術 美術II	学 年	2学年	指導クラス	2年 選択者	
単 位 数	2単位	使用教科書	美術2	光村図書	副教材・問題集等	

1. 科目の目標

<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

3. 指導及び評価計画

月	題材	指 導 項 目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	祈りの場を彩る	さまざまな地域の祈りの場を鑑賞し、それぞれのよさや共通点を感じ取る	2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな地域の寺院や礼拝堂を鑑賞し、時代や地域、宗教などによる違いや共通点などを感じ取る。 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。 	・ワークシート	○	○	○
	心の中の風景	心に浮かんだ風景を形や色、構図を工夫して描く	12	<ul style="list-style-type: none"> ・心に浮かんだ風景をあらわすことに関心を持ち、対象となる風景や、自己の内面を深く見つめ感じ取ったことなどから主題を生成する。 ・主題をもとに形や色、材料などの構想を練る。 ・あらわしたいイメージをもとに、材料や色づかいを工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート 	○	○	○
5								
6	ミュージックビデオをつくる	撮影や編集を工夫して、曲のイメージを豊かに伝える映像をつくる。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・曲のイメージや魅力について考え、映像メディアによる表現の特性を生かして主題を生成する。 ・主題をもとに、色や形、光、撮影方法や編集方法などの構想を練る。 ・カメラやコンピュータなどの用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート ・行動観察 	○	○	○
7								
9	風景を撮影する	風景から感じたことをもとに、光や構図などを意識して写真をとる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・写真表現の特性を生かして主題を生成する。 ・主題をもとに、構図や光などの構想を練る。 ・カメラなどの用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート 	○	○	○
10								
	トータルデザインを考える	伝えたいイメージをもとに、形や色を工夫して、統一感を意識したデザインを考える	12	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいイメージや伝える相手などから主題を生成する。 ・主題をもとに統一感をもたせた表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ・形や色、構成などを工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート 	○	○	○
11	抽象への誘い	抽象絵画とそれらを描いた作家について知り、作品に込められた意図や工夫を感じ取る。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象絵画とそれらを描いた作家について関心を持ち発想や構想の独自性と表現を感じ取る。 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。 	・ワークシート	○	○	○
			人の形	人の形をあらわしたさま	15	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな彫刻家の作品を鑑賞して感じ取ったこと 	・作品	○

12	を迫及する	さまざまな作品を鑑賞し、自分なりの人間像をつくる		<p>や考えたことなどから主題を生成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ・材料や用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	・講評ノート			
1	問題解決のためのデザイン	社会で起きているさまざまな問題に目を向け、形や色、材料を工夫して解決のためのデザインを考える	11	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の諸問題に目を向け、それを解決するデザインに関心を持ち、使う場面や目的などから主題を生成する。 ・主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ・形や色、材料、構造などを工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、表現の独自性や工夫を感じ取り、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート 	○	○	○
2 3	人を、社会を変えていく	作家の手法 オラファー・エリアソン	1	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・講評ノート 	○	○	○
			70					

※このフォーマットを基準とし、教科に応じて変更可